

【上地町】

★上地町は避難者の受け入れ、浸水想定地域住民への呼びかけ、身体の不自由な人への支援、指定避難所の他にも避難所の開設運営など多くの役割を担うことになる。その体制づくりが必要。早め早めの行動が一番。

◎: 早めに情報を提供することは重要なことだ。

【川端町】

★声掛け、情報提供、避難困難者が避難可能か確認等、自主行動での被害には責任が取れないので各自の行動が中心となる。

◎: 普段から災害時の動きが考えられている。災害発生時にこれという答えは無いので手探りでも進む事になると思う。

自主防災隊ごとに 台風接近時の
取組み内容について発表

(◎は阿部雅寿防災
マネージャーからの講評)

【粟野町】

★早々に会長が対策に入る。自主防災隊で台風時の取組みが未定。今後決めて行く。台風で避難道路が水没し、地区が孤立した経験もあり、どの道が安全か都度話し合う。

◎: 避難所が開設されたら入る、と決めてあるのがすごい。



【中須町】

★隊員は研修センターに集合し、備蓄の確認、行動を話し合う。土嚢の準備。各自役割分担確認、弱者・高齢者への連絡、住民への避難アナウンス、状況確認や避難の協力

◎: 早い段階から集まって共有する点が頼もしい。

【中須町坂東】

★高齢者・要支援者以外は各自避難、15班の編成で声掛け。防災隊 51名全員に役割分担済、各自治会員に放送システムで一斉放送も入る。避難ルートを確認できるか、駐車場があるかが問題。

◎: 普段からいろいろなパターンを考えて行動されている。

【粟野団地】

★集会所を開放、自主避難開始。住民の70%が70歳以上のため団地内を一軒ずつ回り、早めに避難完了。避難拒否者のため2名は残る。最終的には全員が城田小へ避難。無線で連絡を取り合う。

◎: 避難支援が素晴らしい。

【城田団地】

★まず地区役員で話し合い、老人世帯に連絡、葉の準備を促す。避難が困難になる前から避難開始、避難遅れがないか見回り確認。

◎: 早いタイミングでの避難支援が素晴らしい。



阿部雅寿防災マネージャーの話

「城田地区は宮川の被害が大きいところ。過去に2回も浸かっているのは珍しい。早めに避難する事は大切であり、これに勝る対策はありません。」

右表を参考に
皆さんも
実際の避難について
考えてみてください

早目の避難を!

